

にじでんち

リチウム二次電池

■ 用語解説 ■

リチウムと名の付く電池は、リチウム電池とリチウムイオン電池がある。リチウム電池は、負極に金属リチウムを使った電池(化学電池)である。一次電池は多量に利用されているが、リチウム金属を用いた二次電池はデンドライト析出などの安全性の問題があり実用化されていない。現在一般にリチウム二次電池と呼ばれているのはリチウムイオン電池である。

リチウムイオン電池は、正極にリチウム金属酸化物、負極にリチウムイオンを吸蔵する炭素等を使った二次電池で、金属リチウムを電池内に含まない。軽くて大きな電力を持っていることが特長で、小型の物は携帯電話、ノートパソコン、ビデオカメラ、デジタルカメラなどに、また大型の物は電気自動車などに使われている。2008年度の日本で生産された電池のうち、金額比で46%がリチウムイオン電池、5%がリチウム一次電池である。